

Satsumasendai City Public Relations

# 薩摩川内

広報

さつませんだい



2026(令和8)年  
vol.514



寄り添い、つながる。  
もっと身近な市役所へ



友だち  
募集中



デジタル

薩摩川内

マガジン

# 4月から市の組織が新しくなります

問合せ／本庁行政経営課(内線6110)または  
本庁スマートデジタル戦略室(内線6151)

急速に変化する社会課題や市民の皆さんからの要望、さらさまな行政課題に迅速かつ柔軟に対応するため、令和8年4月から組織機構が変わります。

今回は、少子化対策や子育て支援、福祉支援のさらなる充実を目的に、課の新設や業務の移管を行います。特に、妊娠期から子育て期までの相談を受ける総合窓口の機能強化、女性や家庭、子どもに関する相談・支援体制の充実、申請や相談が一つの窓口で簡潔するワンストップ化の拡充を図ります。

## 主に本庁2階の組織が変わります！

※今回は、再編した部・課を中心に、その概要と庁舎内の配置を紹介します。本庁舎のレイアウトは次のページをご覧ください。

**福祉ごと部**  
福祉に関する業務を集約し、さらに「子ども家庭課」を新設します。相談窓口の一元化による利便性の向上や少子化対策の強化を図ります。

**健康保険部**  
【構成課】福祉政策課、高齢・障害福祉課保護課、子ども家庭課、子育て支援課  
健康保険・介護保険に関する課と、健康増進に関連する課を統合し、市民サービスの上を図ります。  
【構成課】保健政策課、保険年金課、介護保険課、市民健康課

## いよいよ家庭課

- ▼子ども政策グループ
  - ・妊娠、出産、子育てに関する相談を継続して支える総合窓口「子ども家庭センター」に関すること
  - ▼相談第1グループ
  - ▼相談第2グループ
  - ・子育て、虐待、家庭内の問題などの相談、支援に関すること
  - ・母子手帳交付に関すること

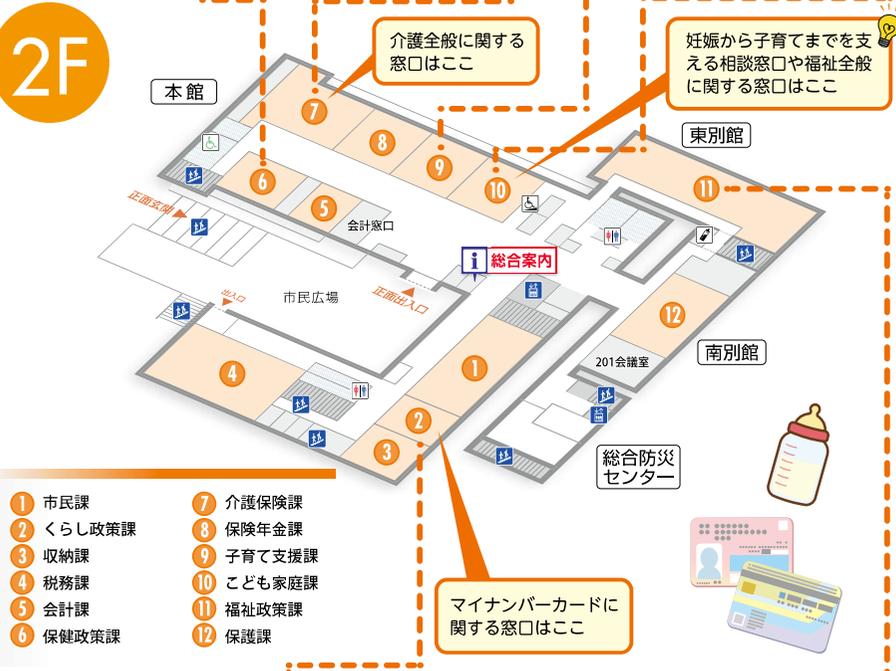
※保育園や児童手当などに関する業務は、**子育て支援課**で受け付けます。

## 介護保険課

- ▼包括支援グループ
  - ・介護予防に関すること
  - ・認知症施策に関すること
  - ▼介護審査グループ
  - ・介護サービスを利用するための認定などに関すること
  - ▼介護指導グループ
  - ・介護サービスを利用した際の給付に関すること
  - ・介護保険料に関すること

## 保健政策課

- ▼企画総務グループ
  - ・健康保険部全体の予算などの調整に関すること
  - ▼地域医療グループ
  - ・地域医療に関すること
  - ・上級診療所など市直営診療所に関すること



## 高齢・障害福祉課

- ▼高齢者福祉グループ
  - ・養護老人ホームの入所に関すること
  - ・敬老金やねたきり老人介護手当などの支給に関すること
  - ・高齢者生活支援に関すること

## 障害者支援グループ

- ▼障害者支援グループ
  - ・児童発達支援や放課後等デイサービスなど、子どもへの障害福祉サービスに関すること
  - ・ヘルパーや施設入所・就労継続支援など、障害者への障害福祉サービスに関すること
  - ・地域活動支援センターや日常生活用具など、障害者への地域生活支援事業に関すること

## 福祉政策課

- ▼福祉政策課
  - ・障害者手帳の申請や重度の障害者への手当の支給に関すること
  - ・自立支援医療費、重度心身障害者医療費助成に関すること

## 福祉政策課

- ▼企画総務グループ
  - ・福祉子ども部全体の予算などの調整に関すること

## 社会福祉グループ

- ▼社会福祉グループ
  - ・民生委員など、地域で福祉活動を行う団体に活動支援や相談に関すること
  - ・災害や火災に遭われた世帯への見舞金支給や、戦没者遺族の方への支援に関すること

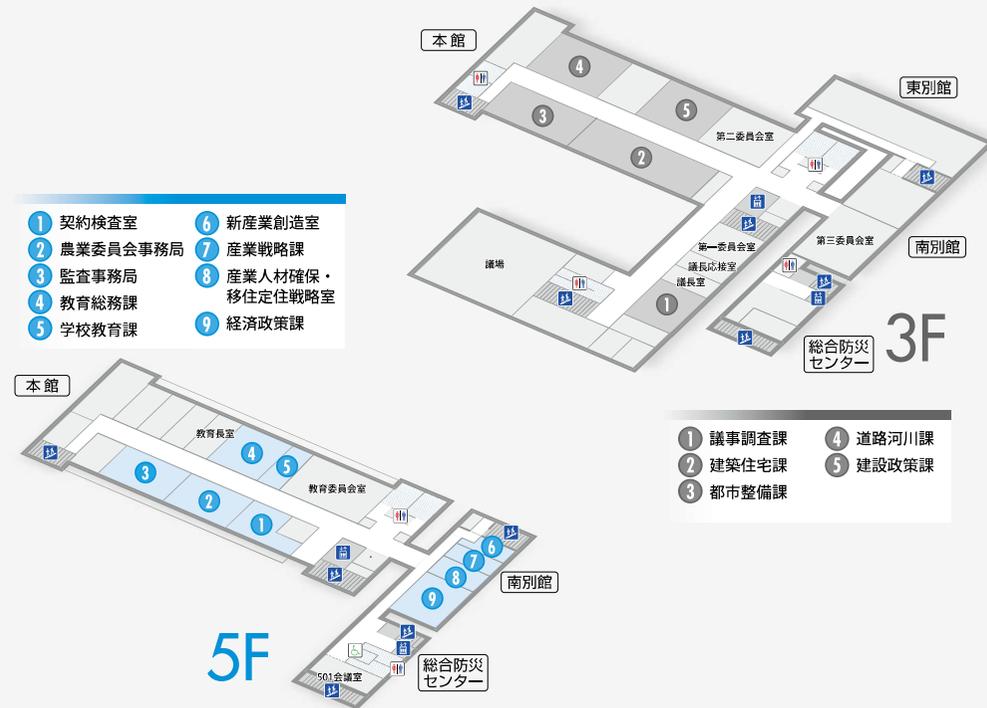
## 生活相談グループ

- ▼生活相談グループ
  - ・消費生活に係る相談業務に関すること
  - ・生活に関する方への相談・支援に関すること
  - ・高齢者の権利や財産を守るための支援(成年後見制度など)に関すること

## くらし政策課

- ▼企画総務グループ
  - ・市民安全部全体の予算などの調整に関すること
  - ・総合案内に関すること
  - ・おきやみコーナーに関すること
- ▼マイナンバーグループ
  - ・マイナンバーカードに関すること

# 本庁舎レイアウト



- トイレ
- 多目的トイレ
- エレベーター
- ATM
- 階段
- 授乳室
- スロープ
- 総合案内

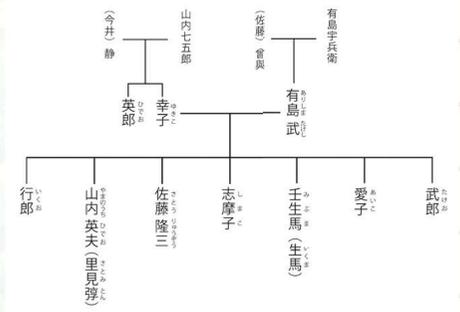
階	施設	課室	業務内容		
6階	本館	①総務課	総務、文書、法制、統計、行革・DX、情報システム		
		②選挙管理委員会事務局	選挙		
	南別館	③観光物産課	シティセールス、観光、物産、ふるさと納税		
		④文化スポーツ課	文化、スポーツ		
5階	本館	①契約検査室	入札・契約、工事検査		
		②農業委員会事務局	農業委員会		
		③監査事務局	監査、公平委員会		
		④教育総務課	教育総務、学校管理、教育施設、学校給食		
		⑤学校教育課	学校教育、教職員、指導、保健体育、就学支援		
	南別館	⑥新産業創造室	新産業創造支援、川内港背後地整備、サーキュラーエコノミー		
		⑦産業戦略課	産業立地・産業誘致、国際交流		
		⑧産業人材確保・移住定住戦略室	人材確保、移住定住		
		⑨経済政策課	地域経済、中小企業、施設		
4階	本館	①秘書広報課	秘書、広報、広報		
		②人事課	人事、職員		
		③財政課	財政		
		④耕地林務水産課	農業基盤、林業、水産業		
		⑤畜産営農課	畜産営農、畜産指導、営農指導		
		⑥農業政策課	農業政策、六次産業化		
		⑦管財課	庁舎管理、物品管理		
		⑧企画政策課	総合政策、島島振興、開発、地域デザイン、地域交通		
東別館	⑨コミュニティ課	コミュニティ、市民活動、ダイバーシティ、人権			
	⑩環境課	環境保全、廃棄物、生活環境			
南別館	⑪土地開発公社	-			
	⑫原子力安全室	原子力安全			
3階	本館	①議事調査課	議会管理、議会活動		
		②建築住宅課	住宅、建築指導、空き家		
		③都市整備課	都市計画、サイン計画、景観、公園緑地、土地区画整理		
		④道路河川課	社会基盤		
		⑤建設政策課	建設政策、用地、地籍		
	南別館	①市民課	住民異動、証明発行、戸籍		
		②暮らし政策課	市民政策、マイナンバー、おくやみ		
		③収納課	収納		
		④税務課	軽自動車税、市民税、固定資産税、国民健康保険税		
		⑤会計課	会計管理		
2階	本館	⑥保健政策課	保健政策、地域医療		
		⑦介護保険課	介護予防、介護審査、介護指導		
		⑧保険年金課	国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金		
		⑨子育て支援課	保育支援、児童手当等給付		
		⑩こども家庭課	こども政策、こども相談		
		東別館	⑪福祉政策課	福祉政策、生活相談、民生委員	
		南別館	⑫保護課	生活保護	
		1階	東別館	①情報公開コーナー	-
				②高齢・障害福祉課	高齢者福祉、障害者支援
				③土地改良区	-



本市には、数々の功績を残してきた偉人たちがたくさんいます。その中の一人、平佐出身の有島武は1916(大正5)年の没後から今年で110年を迎えます。そこで武の人物像やその子どもたちを含めた有島家の功績などについて深掘りします。



有島家の家系図



「三男・里見淳の随筆(父を語る)」によると、娘の愛子と志摩子の名前の由来は、有島を鹿兒島弁で発音すると「あいしま」となることから名付けられたんだって。



有島 武



貧しかった幼少期

有島武は、1842(天保13)年、薩摩国平佐郷平佐村(現在の平佐町)で誕生しました。父・有島宇兵衛は平佐領主北郷家に仕える武士でしたが、1847(弘化4)年に起きたお家騒動(平佐崩れ)に巻き込まれ、トカラ列島の臥蛇島へ遠島処分されています。この出来事により、家族は生活が不安定になり、厳しい経済状況の中で生活することになります。

人生の転機

1856(安政3)年、平佐領主北郷久信に雇い入れられます。書記として文書の記録などの他、日常的な雑務など側近としての役割を果たし、武はこれを期に周りからの信頼を高めていくこととなります。

学び多き青年期

20歳になると北郷久信に随行して江戸に行き、砲術を学びます。当時の薩摩藩は西洋軍事技術の導入を積極的に進めていて、武は最先端の軍事教育を受けることができました。その後は、第一次長州征伐に従軍しました。帰藩後は薩摩藩の洋学校「開成所」に入学し、寺島宗則から英学英語を本格的に学ぶこととなります。この青年期で得た多くの経験が、武の活躍に大きくつながっていきます。



最新の軍学や英学を取り入れようとする強い向上心の持ち主だったんだね!

平佐を離れ東京へ

1872(明治5)年、町田久成(薩摩出身の要職者の支援もあり、武は租税寮(のちの大蔵省)で官僚として働くこととなります。

東京に移り、1877(明治10)年には山内幸子と結婚します。結婚後は今までの実績が評価され、関税局長、横浜税関長、国債局長などの重要な役職を歴任し、「明治建国のデザイナー」と呼ばれました。



▲有島家の集合写真(1896(明治29)年)

51歳の時、大蔵大臣と政治上の意見で衝突し、職を自ら辞めてしまったんだって。



実業界で活躍

官僚を辞めた後は、第十五国立銀行、日本鉄道会社、京都鉄道会社、山陽鉄道の重役を歴任します。官僚時代の経験で培った能力を発揮し活躍しました。

その後、北海道マツカリベツ(現・ニセコ町)に農場を計画します。これが後に長男・武郎が無償で農場を開放することになる有島農場のはじまりです。



▲有島農場開拓の様子(有島記念館提供)

主に、ジャガイモやコメを作っていたんだって。



息子たちは父をどう見ていたのか

貧しかった幼少期を経て、官僚、実業家として活躍してきた父を息子たちは著書やインタビュー記事の中で次のように語っています。

【武郎】 真正直な性格で、頑固に自分の態度や考えを譲らず、粘り強く物事に取り組む人であった。外から見たら冷たい人に見えていたかもしれないが、心には熱い情熱を持っていた。  
「私の父と母」参考

【生馬】 自由といふべきか、放任といふべきか分からないが、勉強しろとは一度も言われたことがなく、口ではなく態度で示していたと思う。  
・南日本新聞「父・有島武を語る」(昭和44年2月24日付)参考

【里見淳】 どうして父のような人から我々のような兄弟が生まれてくるのか不思議なくらい、仕事や勉強に誠実な人だった。  
「父を語る」『自然解』所収参考



▲有島武 頌徳碑の前で

武の活躍を記念して、1934(昭和9)年、平佐町に記念碑が建てられました。写真は左から、里見淳、生馬、行郎夫妻です。



武の土地などの遺産は、すべて平佐村(現・平佐町)に寄贈したんだって!



▲Googleマップ(有島武頌徳碑)

## 有島 武郎



長男の武郎は、1910年代に活躍した白樺派の中心作家で、理想主義、人道主義を重んじる文学で知られています。

武郎は、相互扶助(自分だけが得ずればよいのではなく、全員が助け合うことで共同体が安定する)の考えをもっていました。

父の死後、有島農場の地主となります。当時は、農地の所有権は地主にあり、農作物を作る小作人は、地主から農地を借りる形で、収穫した一部を地主に納めなければなりません。

武郎は、小作家が困窮している様子を目の当たりにし、自らが地主であることの矛盾に苦しみます。自分の考えを大事にし、小作家全員に農

場を無償で解放するという歴史的決断をしました。  
この決断は、当時多くの人に衝撃を与え、現在は、当時の有島農場跡地に有島記念館と農場開放記念碑が建てられています。



▲有島記念館 (有島記念館提供)



▲農場開放記念碑 (有島記念館提供)

## 有島 生馬 (有島 壬生馬)



次男の生馬は、日本近代洋画の発展に大きく貢献した洋画家、小説家です。東京外国語学校で学んだ後、1905(明治38)年にイタリアとフランスへ留学します。1907(明治40)年にフランスの画家・セザンヌに深く感銘を受け、帰国後に「白樺」誌でセザンヌを日本に最初で紹介した画家として知られています。1914(大正3)年には洋画団体「二科会」を創設。退会後、安井曾太郎らと、「水会」を立ち上げ、日本洋画の近代化を牽引しました。

生馬は17歳の頃、肋膜炎の療養のために本市で暮らしてたんだった。静養中、日本のカトリック僧と出会った事がきっかけで、ヨーロッパの芸術に魅かれるようになったんだって!



生馬が依えたかった思いとは、生馬の作品の一つに、「江南の春」があります。この絵は東京在住の平佐出身者の声に添えて描いた作品です。

作品は、川内まごころ文学館に展示されていて、その解説によると、「江南とは、中国南部・長江下流域のことで、古くから春や豊かさを象徴する地として表されていました。描かれた頃は日中戦争中で、江南一帯に戦火が及び始めていた時代でした。

生馬はこの絵の裏に、ひとつの英語タイトルを書き添えていました。「Peace amidst war by IKUMARISHIMA 1939」直訳すると戦争の中の平和。戦争のさなかであっても、かすかに存在する平和への願いが込められていたのかもしれない。」と説明されています。

ぜひ作品を見に来ませんか。

ぜひ作品を見に来てね!



## 里見 淳 (山内 英夫)



四男の里見淳は、白樺派の中心的作家です。生まれてすぐ、母・幸子の山内家の姓を継ぎます。本名は山内英夫。短編小説を得意とし、人間心理の細やかな分析と描写が秀逸でした。志賀直哉や武者小路実篤らと文芸雑誌「白樺」を創刊。

「まごころ」を重んじる独自思想を持ち、人間の弱さや愚かしさをあたたかく描く作風が特徴的で、代表作には「善心悪心」「極楽とんぼ」などがあり、特に極楽とんぼは晩年の代表作として高い評価を受けました。

亡くなる直前まで創作を続け、白樺派最後の作家と呼ばれる存在でした。



▲極楽とんぼ

ペンネーム里見淳の由来は、電話帳をペラペラとめくり指でトントンと突いた場所がたまたま里見姓だったからみたい。



平佐西小学校や川内商工高等学校など、父・武の誕生の地を訪れて講演会を行っています。



▲高校生に講話を行う里見淳

### つながる思い

川内まごころ文学館には、有島家の過去が分かる年表や作品が多く展示されています。他にも里見淳が住んでいた家の中が再現されていたり、当時の様子を感じることができます。

また、ニセコ町と本市は、有島家のゆかりの地として有島芸術三兄弟文学館姉妹館盟約を結んでいます。毎年どちらかに訪れ、文化交流を行うなど、有島家がつないだ思いが今も引き継がれています。



### 特別企画展を開催します

3月17日(火)から5月10日(日)まで、川内まごころ文学館で、「第20回特別企画展有島武1842-1916」を開催します。

有島武が亡くなってから110年が経つのを記念して、その生涯と業績を紹介します。興味のある方は、ぜひこの機会に、有島家の歴史に触れてみませんか。

### 料金

▼大人 1300円  
▼小中高生 1500円  
※小中高生は、土・日曜日、祝日は無料です。



▲まごころ文学館 ホームページ

# 図書館へ



▲図書館ホームページ

## 移動図書館車で本を借りよう

令和8年度の移動図書館車の巡回日程は下表のとおりです。  
※利用の際は、図書館利用者カードが必要です。カードは、巡回場所でも作成の手続きができますので、マイナンバーカードや運転免許証など、本人確認ができるものをお持ちください。

巡回日/毎月1回  
※甌島区域は8月の巡回はありません。  
貸出期間/次の巡回日まで  
貸出冊数/10冊まで



移動図書館車が巡回します

### 本土区域一般コース

巡回場所および予定時間 問合せ先/中央図書館 ☎(22)3542			巡回日													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
午前	和光園	さとのもり保育園	16日	21日	18日	16日	20日	17日	15日	19日	17日	21日	18日	永利馬場自治会館	10:20~10:40	
	9:30~9:45	⇨	9:50~10:10	⇨	10:20~10:40	第3木曜日										
樋脇公民館	センノオト	⇨	11:40~11:55	⇨	12:15~12:40											
午後	自衛隊官舎	勝目団地	第3木曜日												九電平佐住宅	15:40~16:00
	14:20~14:40	⇨													15:00~15:20	⇨

### 甌島区域巡回コース

巡回場所および予定時間 問合せ先/甌島教育課 ☎09969(2)0031		巡回日																	
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
下甌 鹿島	海星中学校	かのこ幼稚園	10日	8日	5日	3日	4日	2日	6日	4日	15日	12日	5日	敬老園バス停	15:15~15:45				
	13:10~13:30	⇨	14:40~15:00	⇨	15:15~15:45	⇨	15:55~16:20	金曜日											
	手打小学校	甌山地区コミュニティセンター	13日	11日	8日	6日	7日	5日	9日	7日	18日	15日	8日	月曜日					
	13:10~13:40	⇨	14:30~15:00	月曜日															
長浜小学校	鹿島公民館	14日	12日	9日	7日	8日	6日	10日	8日	19日	16日	9日	火曜日						
	12:50~13:20	⇨	14:30~16:10	火曜日															
上甌	中津小学校	甌島振興局	15日	13日	10日	8日	9日	7日	11日	9日	20日	17日	10日	水曜日					
	13:10~13:40	⇨	14:00~16:00	水曜日															
里	里小学校	里中学校	16日	14日	11日	9日	10日	8日	12日	10日	21日	18日	11日	木曜日					
	12:50~13:15	⇨	13:20~13:40	⇨	14:00~15:30	木曜日													

※悪天候やその他の事情により巡回日を変更または中止する場合があります。  
※到着時間が多少遅れる場合があります。  
※移動図書館車で借りた本は、次回の巡回日に返却するようになっていますので、ご協力をお願いします。

## 鹿児島県青少年国際協力体験事業 ラオスで考える国際協力 異文化体験ツアー

—協力隊員活動を見に行こう!—

参加者募集



▲市ホームページ

問合せ先=本庁産業戦略課グローバルG(内線5771)



▲JICA海外協力隊ホームページ



JICA海外協力隊の活動などについて、詳しくはホームページをご覧ください。

この事業は、県内在住の中高生を開発途上国に派遣し、ホームステイや学校、施設などでの交流を通して相互理解を深めることを目的としています。また、現地で開発途上国の国づくりに貢献しているJICA海外協力隊員の活動現場の視察や現地での協力活動を通して、国際協力に対する理解を深め、国際性豊かな人材の育成にも努めています。

派遣後には、活動報告会などを行うことで、学校や地元に戻元し、地域レベルでの国際化に寄与します。

鹿児島県青少年国際協力体験事業とは?

令和8年度開催  
ラオスで考える国際協力  
異文化体験ツアー

時7月19日(日)~26日(日)

内容  
ホームステイ、JICA海外協力隊員やNGO(非政府組織)の活動現場視察、現地住民との交流、異文化理解に役立つ施設の見学など

対象 中高生  
※保護者または生徒の住所が本市であること

定員 2人

※面接などを実施  
料金 25万円程度

申込方法  
申込期限 4月13日(月)必着  
申込が半額程度助成

申込方法  
市ホームページ、本庁5階産業戦略課各支所、甌島振興局、各市民サービスセンターに備え付けの申込用紙に必要事項を明記の上、直接送付

スタディツアー  
ベトナム体験記

令和7年度の県青少年国際協力体験事業は、ベトナムで行われ、本市からも2人が参加しました。

今回はそのスタディツアーに参加した2人に、現地での体験や学んだこと、感じたことなどについてインタビューしました。



## 私のベトナム体験記

言葉を超えた想い  
入来中学校3年 是枝秋穂

私はこの経験を通して、言葉が通じなくても、行動や表情で気持ちや伝えることができるということを感じました。

最初はベトナム語が分からず、思うようにコミュニケーションが取れませんでした。しかし、一緒に過ごす時間が増えるにつれて、ジェスチャーや表情を使いながら、少しずつ気持ちを通わせることができました。

開発途上国というイメージも、現地の人々の温かさや思いやりに触れることで変わりました。他国の文化を受け入れ、周囲をよく見て諦めず挑戦する大切さを学んだ7日間でした。



カムオン!ベトナム  
れいめい高等学校2年 坂下 純

この研修は一生忘れられない7泊8日になりました。

私にとって初めての海外、初めてのホームステイでした。出発前までJICAの活動視察やホストファミリーに会えることを楽しみにしていました。その一方で、言葉や環境、文化の違いに慣れることができたのか、不安な気持ちもありました。

実際に訪れてみると、高層ビルが多く、街も人も活気に溢れていて驚きました。生活する中で、日本とは異なる不自由さを感じる場面もありました。ですが、ホストファミリーの優しさに触れ、本当の家族のように受け入れてもらいました。



